

かしの木

第 55 号

2015 年 12 月号

発行 聖ヨハネ会高齢福祉部門
広報委員会
「かしの木」担当

〒184-0005
東京都小金井市桜町1-2-24
電話 042-381-1234

老いから看取りまで

桜町聖ヨハネホーム園長 藤井 律治
統括施設長代理

桜町病院の嘱託医・産業医の先生方と懇談する機会があり、石島名誉院長よりヨハネホームでの『看取り』について貴重な話があった。

まさに『老いから看取りまで』は、私たちヨハネ会高齢福祉部門が関わる全期間である。そしてこの期間は、健康な者でも、病弱な者でもこの世に生を受けた者は、誰もが必ず通る道である。

今、法人本部で職場の紹介を進めているが、高齢福祉部門では、『老いから看取りまで』を取り上げた。在宅サービスの始まりから施設で看取るまでをどう関わっているか、センター職員の大神田、ホーム職員の遠藤両君によって取りまとめもらった。モデルケースとして初老期でまだ自立されている高齢者が相談窓口にいらっしゃる所から関わりがスタートする。次に介護予防サービスから始まり老いの進行により、ケアマネ、配食、訪問介護、通所介護、訪問入浴などの在宅サービスを受ける。その後、高齢期を支えるサービスは、ショートステイを通して、入所サービスのホームへと襷を繋いでいき、看取りまでの一連の関わりを表わしている。『老いから看取りまで』…私たちが目指しているものは、理念に基づいて、高齢福祉の分野でここに関わる事である。

ホームで利用者さんと個別に接し、手を握り締める時、この方が幼かった少年少女だった



ボランティアと共に音楽サークルによる音楽会が開催されました。(ヨハネホーム)

頃、また父母となった頃、社会の第一線で活躍された頃のことを想像してみる…。ご利用者さんにとっては、若輩の私であるが、その人生の生きて来られた道のりを思う時、僭越ながら、表現できないような愛おしい気持ちになる。職員の個々の感じ方は様々と思うが、このような感情は、対人援助をしている私たちにとって大きなお恵みであると思う。

職員は、個人で言えば『点』として働いているが、『老いから看取りまで』をヨハネ会高齢福祉部門の大きなチームの中では、その点と点が繋がり、『線』となり、しっかり人々の高齢期を支えている。

職員には、チームの一員として素晴らしい仕事に関わっているので、これからもその誇りをもって働いてほしいと思う。



2015年度より 組織改編し、部課制 となりました!

今回は施設サービス部(ホーム)と在宅サービス部(センター)の2名の課長紹介です。

よろしくお願ひ致します



施設サービス部
生活支援課
課長 及川 彩子

4月から施設サービス部生活支援課課長に任命されました及川彩子です。

学校卒業後、ケアワーカーとして入社し17年…社会人としての経験はヨハネホームでしかありませんが、周りの人に助けられ様々な経験をさせていただく中で、ご利用者様1人1人が大切にしている事、してきた事を尊重しながらケアを組み立てていく事が「大切にされていると感じられるケア」に繋がると感じています。ケアワーカーとしてご利用者様と直に接する一方で、課長として介護・医療・生活相談係を束ね施設サービス部の運営にも携わるといふ新たな役割に戸惑い自分自身の未熟さを痛感しつつ、ケアワーカーと課長職とのバランスを取りながら半年が経ちました。

今後も、ご利用者様にとっては「入所して良かったと思える生活施設」として、職員にとっては「ここで働いて良かった」と思える職場となるよう努力していきたく思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



在宅サービス部
サービスセンター課
課長 大神田 豪

今年4月の組織改編より課長を拝命しました大神田豪です。学生アルバイトからヨハネ会にお世話になり、はや12年。この12年は「若手」と言われ続けた12年でもあります。

なかなか「若手」から脱却出来ない理由…私自身の問題もありますが、年下が入職してこない現実もある為です。

今現在高齢福祉部門は財務改善に取り組んでいる真っ最中です。今年度にもありましたが、介護保険見直しの度に我々事業者は振り回され、介護報酬はマイナス改定と苦しい現実が立ちはだかっています。

今、福祉の現場は人材不足でそれはヨハネ会もかわりません。求人をかけてもなかなか人が集まらないのが現状です。一刻も早く財務を健全な状況にし、現場の職員がゆとりを持てる働きやすい環境、一人一人が安定した生活をおくれる財源、これらをもたらすことでこの職場で働きたい、そんな若者が呼応するのではないのでしょうか。

そしてそこからの人材育成…取り組む為には一致団結、この言葉で締めくくらせて頂きます。

秋の行事紹介

今年度も聖ヨハネ会高齢福祉部門では、各施設にて様々なイベントを開催致しました。今回は、敬老会やコンサートなど、秋に行った行事をいくつかご紹介したいと思います。

桜町聖ヨハネホーム

百歳のお祝い



ヨハネホームでは、例年、100歳を迎えられるご利用者様へ小金井市長がお祝いにお見えになります、1階の喫茶室にて、ご利用者の皆様のご長寿をお祝いさせて頂きました。



(上・右)
今年も敬老会では、園長からのお祝いの言葉から始まり、音楽会を開催致しました。

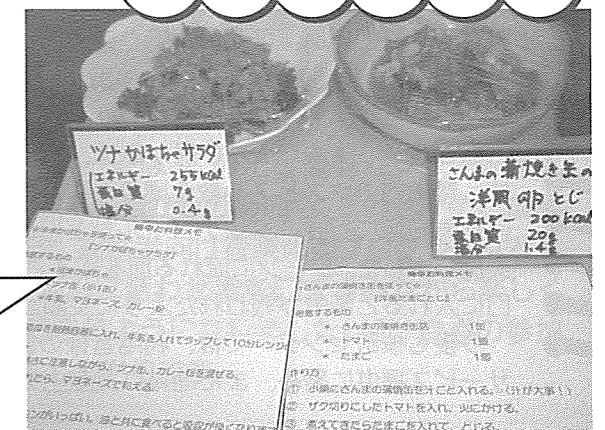
消防発表会



自衛消防発表会は小金井公園で開催され、屋内消火栓男子隊にて、指揮:森田千積職員(桜町センター)、一番員:西河政宏職員(栄養部)、二番員:森崎幸夫職員(ヨハネホーム)で出場し、みごと準優勝(優秀賞)となりました。



さくらカフェ



ご利用者様とご家族向けに
さくらカフェを実施しています。

管理栄養士が栄養面についてご相談にのっています。
職員・ボランティアもちょっといっしょ。

秋の行

敬老会



沖縄三味線の演奏会では、昔から来て頂いているボランティアさんが、お祝いに駆けつけて下さいました。三味線の音色にしばし南国の海を思い浮かべた方もいたことと思います。また、武蔵野桜太鼓の皆さんも登場。お祝いの日を更に盛り上げて下さいました。



迫力ある和太鼓を奏でて下さったのは、どんどこ座というグループの皆さんです。勢いのある演奏に、自然と気分も上がります。



どんどこ座



事紹介

敬老の日を含めた一週間を敬老週間とし、様々なボランティアさんのご協力を得て、音楽会を開催することが出来ました。



南米楽器アルパを使用したコンサート。カラフルな衣装と優しい音色に会場はまるで異国に来たような雰囲気になりました。

かいてき健康クラブで来て頂いている音楽療法士・藤本先生を中心に音楽療法のコンサートを開催しました。

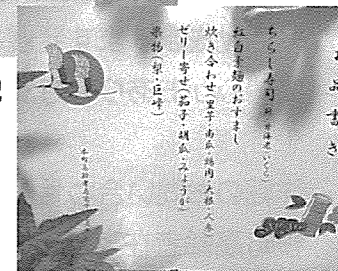


エルダー体操



敬老会

デイサービスの昼食はお祝い膳をお出ししました。



食の自立支援事業

敬老お祝い膳



配食サービスもメニューを特別にして、お祝いいたしました。

桜町センター 担当者より

日頃より、桜町高齢者在宅サービスへご愛顧を賜りまして、ありがとうございます。今年の9月～10月は、地域の方々をはじめとする、多くのボランティアによる支えから多くのサービス提供が出来る事が出来ました。9月・10月の活動を紹介させていただきます。

9月の初旬は半年に一度の体力測定（通称；お楽しみ測定）を行い、利用者様の体力などを測定させていただきました。測定結果から歩くスピードやバランス力などを把握し、次のリハビリや必要な支援を検討しています。利用者様が住みなれた家で、楽しく安全に過ごせることに繋がればと思うところです。また黙々とリハビリをするだけのデイサービスではありません。利用者様と活動を一緒に行い、利用していただいている時間は楽しんでいただけることも大切にしております。午後は趣味活動の書道や華道、陶芸等々を常設に行い、各々の作品を完成させています。

敬老の日には「武蔵乃桜太鼓」の演奏、大カルタ大会を開催しました。利用者様が太鼓を体験で叩いたり、手拍子したり、カルタも札を見つくと「そこ！そこ！」など、一日を通して大盛り上がりでした。

過ごしやすくなった10月からは、利用中に外に出る機会も設けています。敷地内のホスピスや教会周りの散歩を行っています。予防クラスでは回転寿司店に行き、タッチパネルなど日頃慣れないシステムを使い外食を実施しました。レーンに流れる皿を取ることに悪戦苦闘されていましたが、口に入れると苦勞が報われたように笑顔がこぼれていました。

今後も桜町センターでは、利用者様の健康維持・増進に寄与できるようサービス提供に努め、また地域に貢献出来るよう営業してまいります。





やすらぎ支援活動

桜町センター 神保 美紀子

認知症状のある高齢者を介護されている家族への支援、ひとり暮らしで物忘れがあり不安のある高齢者の支援として、傾聴ボランティアである「やすらぎ支援員」がお宅を訪問し、見守りやお話し相手を、月に2~4回させていただく活動です。

現在6名のやすらぎ支援員さんが活躍されており、ゆったりとした雰囲気の中でじっくりお話を伺うことで、ご利用者の皆様は穏やかな時間を過ごしていただいています。

活動をますます発展させていく為に、やすらぎ支援員さんの募集をしております。地域福祉に関心がおありの方であれば特に資格は問いません。

詳細のお問い合わせは、
桜町高齢者在宅サービスセンター
担当:神保まで よろしくお願ひ致します
電話:042(381)0006



言葉の花束

クリスマスの主に

統括施設長 Sr 相松 幸子

「主よ、来てください。私たちの心に、私たちの家庭に」と待降節の間、祈り求めてきました。クリスマスの主役はイエスだけではありません。待降節の間、私たちは幼子イエスに焦点を当てていますが、クリスマス日に御子を世に遣わされたのは御父である神なのです。私たちの天の父は私たち一人ひとりを宝として慈しんでくださるのです。クリスマスの祝いの真ん中に立っておられるのは、私たちがこよなく愛し、私たちを罪から解放するためにご自身を独り子を遣わされた御父なのです。

今 後 の 予 定

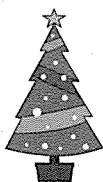
ヨハネホーム

- 12月 クリスマス・キャンドルサービス
- 1月 初詣
獅子舞



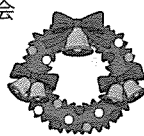
桜町センター

- 12月 クリスマス会
- 1月 ボランティア懇談会・懇親会
新年会



本町センター

- 12月 ボランティア懇談会・懇親会
クリスマス会
- 1月 新年会



両センターともに12/30~1/3はお休みです。

【編集後記】



冬に入り、感染症にかかりやすい季節となっています。昔に比べ、ノロウイルスなど病気も増えてきています。増えるだけでなく、より強いウイルスになっていたりもします。効果的な薬を待ちたいところですが、基本のうがい・手洗いが一番ようであります。皆様もどうぞお身体には気を付けて下さい。

(委員T.Y)